

総務常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和3年7月28日（水） 午前9時30分 ～ 午前12時15分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 6名のうち出席者 6名			
出 席 委 員	委 員 長	緒方 正綱	委 員	岩井、優之介
	副委員長	村井 眞菜	委 員	橋本 章央
	委 員	中屋 康	委 員	味元 和義
事 務 局	局 長	長谷部 卓也		
説 明 者	副町長	森 武士	総務課	財政班長 津野 博
	総務課	課 長 熊谷 敏郎		主 幹 義村 貴明
		副課長 佐竹 雅人	にぎわい 創 出 課	課 長 小笹 義博
		副課長 多賀 啓一		副課長 田辺 俊輔
		係 長 藤原 直美		
傍 聴 者				
付 議 事 件	1. 職員の時間外勤務のアンケート調査			
	2. 議会BCP（業務継続計画）の作成			
	3. その他（①松葉川温泉の指定管理状況 ②予算編成の仕組み ③少人数議員研修プランについて）			
審 査 ・ 調 査	1. 職員の時間外勤務のアンケート調査			
	・ アンケートの内容についての確認をして、少し修正を加える形で委員全員の了解を得た。総務常任委員会から発信。回収期限は8月31日とし、庁議に諮ってもらい、了解なら速やかに実態調査を実行するという事で決定をした。			
	2. 議会BCP（業務継続計画）の作成			
	・ 事務局側の素案と高知市議会の議会BCPの資料を基に総務常任委員会で協議をしていく。議会BCPの内容をどこまで作り上げていくのか。あまり詳細に作成すると、逆に窮屈になることもある。配布をした資料を参考にしながら、これから委員会で練り上げていく。			
	3. その他			

	①松葉川温泉の指定管理について		
	・執行部より松葉川温泉の指定管理状況についての説明を受ける。これまでの経過と現状（職員体制、新型コロナ等の影響）、あぐり窪川としての見解。		
	また、今後の指定管理の方向性について町としての見解（新たな指定管理者の公募）、指定管理者の公募について、今後のスケジュール等が主な内容であった。		
	全員協議会の場で、改めて説明をして、議会の理解を求めるということである。		
	②予算編成の仕組みについて		
	・町の財政状況を知る意味で、定例会開催基の翌月に財政班と勉強会を設けることを委員会の活動計画に組み入れており、今回も財政班長に出席してもらい資料を参考にしながら予算編成の仕組み（スケジュールと査定）について説明をもらった。		
	予算編成の時期、予算編成から執行までの期間と工程（当初予算）等、予算編成の流れを学んだところだ。		
	予算要求にあたり、一般財源を試算して予算編成方針等に反映し、各課の要求において一般財源額の上限額を設定していく。		
	それと、国の地方財政計画等を参考に、改めて一般財源（主に普通交付税）を試算し、当初予算に反映させていく（1月～2月の作業）ということである。		
	③少人数議員研修プランについて		
	・先進地視察研修において、各常任委員会の枠を離れて、少人数（3～4名）で研修できる仕組みを検討している。少人数研修プラン（案）についての確認。		
	(12時15分終了)		
反対意見			
報告日	令和3年8月10日（火）	委員長署名	緒方正綱 